

2022  
5・23 月4回  
月曜日発行  
第1246号

# 週刊ビル経営

発行所 (株)ビル経営研究所  
〒104-0061  
東京都中央区銀座7-17-12 2F  
TEL 03(3543)7421  
FAX 03(3543)5839  
発行人 垂澤清三  
年間購読料 30,000円(税込)  
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS  
亀岡大郎取材班グループ

## ソーコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所  
代表取締役 出村 亜希子  
奈良女子大学大学院修了後CM  
会社を経て現職。一級建築士、  
宅建士。「倉庫ドクター」とし  
て建築面からオーナー支援に取り  
組む。

貨客混載で企業全体が元気にな  
などの規れば、そこでまた有望  
制緩和な人財が育つのです。  
や、自動この好循環が生まれ  
運転やMば、労働生産性は大き  
aaSとく向上するでしょう。  
いったテ 一部の先進的な物流  
クノロジ 企業では、物流に「新  
ーの進化 たな価値」を生み出す  
による脅 施策を既に練っていま  
威も出て す。単にモノを運ぶだ  
きまし けではなく、そこに新  
た。建設 たなソリューションや  
業やビル サービスを付加して  
経営にも 「物流+α」を実現し、

先日5月12〜14日ま 共通する課題が多いの  
でパシフィコ横浜で開 ではないでしょうか。  
催された「ジャパント ころした課題のう  
ラックショー2022 ち、燃料価格の高騰や  
2」に行ってきました。 法改正などは企業の自  
これまで「倉庫ドクタ 助努力ではコントロー  
ー」として、倉庫会社 ルできないのが現状で  
に寄り添うサービスを す。収益力を向上させ  
専門に取り組んできま て課題解決につなげる  
したが、同じ物流業界 のは容易ではありません  
でも「倉庫」と「運送」 ン。変えられる  
では課題や様相が異な ところは何か。  
ることを実感しまし ところの取り組むべ  
た。 き努力の一つ  
が、労働生産性  
の向上です。

### 第48回 「労働生産性アップは物流に学べ」

実は、日本の  
物流も労働生産  
性はそう高は  
ありません。ア  
メリカを100  
でも上司や専門家とつ  
ながらサポートが受け  
られるシステムを導入  
したりしています。さ  
らに、こうした知見や  
ノウハウを生かすべ  
く、企業の採用制度や  
評価制度、育成など人  
事面をサポートするグ  
ループ会社を設立しま  
した。特に、こうした  
仕組みを導入するのが  
容易ではない50人以下  
の中小企業を支援して  
いきます。

全国には、6万社を  
超える運送業者があり  
ます。倉庫業者の約6  
000社と比べると  
ても大きな業界です。  
この運送業界にも、変  
革の波が押し寄せてい  
ます。働き方改革法の  
施行に伴いドライバー  
の労働時間上限がか  
かる2024年問題。  
燃料価格の高騰。創業  
者一家が経営する中小  
業者が多いため、事業  
承継の課題のほか、長  
時間労働の割に給料が  
低く若手が入らないこ  
とに起因する人手不足  
も根本的な課題です。  
さらに、旅客輸送と貨  
物輸送を一緒に運べる  
益の多様化につなげま  
す。また収益の多様化  
い